

こども発達支援センターくれよんクラブ評価表(利用保護者用)

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	58%	33%	8%		・ 建物の老朽化、保育スペースが狭い・運動するときにもっと広いスペースが良い	・ 安全面に配慮した改修や環境整備を行っていきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	92%	8%			・ 摂食相談、言語、作業療法もいて相談しやすい・いつも複数の職員が配置されているので安心感がある。	・ 職員一人一人の専門性を高めていく研修等を今後も積極的に行っていきます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	75%	16%	8%		・ 清潔ではあるが古い設備が多い・子供が道具を準備することが分かりやすい・ロッカーやタオル掛けが自由なので分かりにくい子もいるのでは・完全なバリアフリーではないところもある	・ 古い建物や他事業所との共有スペースも多い現状がありますが、視覚的な情報やお子さんが活動しやすくなる構造化を進めていきます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	92%		8%		・ トイレが少し暗くて狭く転んでしまうこともあった。明るくて着替えができる場所があるといい。・窓が多く明るい・掃除がきちんとされているので子供が寝転んでも安心。	・ 親子で安心して過ごせるトイレや着替えのスペースを職員で再度検討し改善に努めていきます。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%				・ しっかり時間をかけて詳しく話を聞いてくれた・子供の姿にあった計画が立てられていると思う。	・ 気軽に活動や内容が確認できるような工夫を検討していきます。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	75%	8%		16%		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	92%	8%				
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	92%	8%			・ 子供の成長に合わせて内容が変わっている	・ 今後も目的や目標等を明確にしたプログラムを検討し提供できるよう職員の専門性を高め生かしていく体制づくりに努めていきます。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や活動する機会があるか	58%	8%	8%	25%		・ 以前は行っていたが現在は実施していない。新たなニーズや目的を再検討していきたい。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%					
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	92%	8%			・ ペアレントトレーニングはとても勉強になった。今後も続けてほしい。ペアレントトレーニングを家族にも知ってもらう機会があるといい。・ペアレントの他に勉強会があるの	・ ペアレントトレーニングをはじめ様々な勉強会を実施していきます。特に仕事などの予定で参加が困難な日程等を再検討していきます。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				毎回子供の様子を伝えてくれるので家の様子も伝えやすい。	・引き続き努めていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	92%	8%			・個別学習時に担当職員と話せるので気になったことを聞きやすい	・引き続き努めていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	92%			8%	・保護者同士で子供の話をできる機会が多く良い。もっと機会がほしい。	・父母の会と引き続き連携を図り、活発に活動と細かなニーズにも応じてられるようにしていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	92%	8%			・相談したいことがあった時にすぐに相談できる日時を決めてくれ安心できた。	・今後も迅速かつ日常的取り組みていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	8%				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	50%	25%		25%	・毎月の便りもあるが通う直前活動内容がホームページで詳しくわかるとよい。	・この度の評価も含め取り組んでいきます。もっと日常的で細かな情報を伝えられる方法を検討していきたいと思えます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	83%			16%		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	75%		8%	8%		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	83%	8%		8%		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				・毎回とても楽しみにしている。母子通園で一緒に参加したことはよい時間でした。	・今後もおこさんやご家族が安心して楽しく通園できるよう努めてまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%				・子供たちをよく理解し、また周囲の人たちにも理解してもらうことが大切と思う機会があつてよかった。	・今後ご意見をいただきながら、より良い療育の提供に努めてまいります。

こども発達支援センターくれよんクラブ評価表(事業所用)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①		○		課題や行事に合わせて使用する部屋を変えています。	他事業所との共有部分が多く時間的な調整が必要なことがある。仕切りや他事業所と予定を確認しながら進めています。
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		こども用のトイレを設置することができたが、大人用の車いすトイレの入り口が狭く使用しにくい課題がある。改善に努めていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	意見箱の設置を行っています	今年度より開始します。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		今年度より開始します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		各方面より情報を集め積極的に参加をしています	伝達研修を行いながら職員全体の質の向上に努めていきます
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		遠城寺式発達検査を活用しています	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		「保護者支援」という表現を用いて「家族支援」「地域支援」とらえ支援内容を設定しています	今後、支援内容をより具体的に表現し実施していくよう努めていきます
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当職員を中心として立案から見直しを随時行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間のプログラムを作成し活用しています。	

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別学習と集団保育の様子を踏まえ検討しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前にミーティングを行い確認している。1日の動きをノートに残し確認できるようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		全体で行えない時には翌日のミーティングにて共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		関係機関との情報交換等に活用しています。	より具体的な表現や記録の取り方などを今後も検討していきます
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		定期的に会議を実施。また、日常的に情報交換をしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関等の会議にも参加し取り組んでいます。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		必要に応じて行っています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修に積極的に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		公園などへの園外保育を実施しています。行事としては今後検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		親子通園を実施しており、日常のお話しができるよう心がけています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		4、5歳児の保護者を対象としたペアレント・トレーニングを実施しています	今年度よりアフターフォローも組み込んだプログラムとなりました。今後も日常的に生かせるよう取り組んでいきます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に実施しています。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		職員全体が心掛けて実施しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会と連携し実施。共催として行事も活発に実施しています。	今後も家族で楽しめる行事を企画し実施していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		日頃から関係機関と連携を図り対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月「くれよんだより」を発行しています。また、保育園などの関係機関へも配り、情報を共有できるようにしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		必要に応じて個別に確認をしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		事業所では実施していないが事業者での行事では地域に向けて掲示物を作成しています	今後もボランティアの受け入れを積極的に行っていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		防犯教室を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面接時やアセスメント票にも記入し、確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者を通じて確認しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事例に基づき、会議等に対応策等検討しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修への参加や実施をしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。